

# CNG車の普及推進

## 萬運輸株式会社



横浜市鶴見区に本社を置く萬運輸(東海林憲彦社長)では、ISO14001の取得など、環境経営を推進してきた。先代の時代から長年に渡って力を入れているのが環境対応車の導入だ。

古くは30年前にメタノールトラックを試験導入したことに始まる。当時の通産省・運輸省が主導した実証実験に協力した。時代を経て、次に注目したのがCNG(天然ガス)トラックだった。20年程前に横浜市の放置自転車回収の業務に第一号車を導入。3年程前からは中型冷蔵・冷凍車についても2台のCNG車を導入している。

大型車についても以前から導入を検討してきたが、既存の路線に補給基地がないなど、インフラに不安があったことに加え、CNG車が改造車扱いであることも見送る要因となっていた。しかし、いすゞ自動車の「ギガ CNG-MPI Gカーゴ」がマイナーチェンジしたことをきっかけに昨年導入に踏み切った。同型車両の東日本第一号となった。

「導入しても飾っているだけでは意味がない。実際の業務に使用することで、不具合や課題が見えてくる。それらをフィードバックすることで、より良いものが開発されていく」と同社長。ユーザーとして新たな技術の開発に協力することが社会への貢献になると考えている。

「われわれは車を開発することはできないが、業務で使用することで実績やデータを残すことはできる。それを使って、さらに良いものを開発してほしい。その結果が、自分たちの乗った証しとなればうれしい」と語る。